



この夏を笑顔で安心して過ごせるよう

節電生活を

期間

7月2日(月)～9月7日(金)の平日 (8月13日(月)～15日(水)を除く)
午前9時～午後8時。特に、午後1時～4時

この夏は、電力の不足が懸念されています。このまま、私たちが電力を使い続けると、大規模な停電が起こる可能性があります。昼間に冷房が止まり、命に関わる問題が生じかねません。この夏を笑顔で安心して過ごせるよう、節電をお願いする期間や時間帯、効果的な節電の方法などを紹介します。

7月から9月1週目までの電力が不足し、特に7月後半から8月末までは約15%の電力が不足する見通しとなっています。このため、7月2日(月)～9月7日(金)(8月13日(月)～15日(水)を除く)の平日に節電をお願いします。

家庭では、午前9時～午後8時の時間帯に節電をお願いします。特に午後1時～4時にピークとなる傾向があり、節電が重要になります。**表1**

節電の方法は左ページに掲載していますので、参考にご活用ください。需給ひっ迫が想定される場合には、「電力需給ひっ迫警報」が発令されますので、一層の節電をお願いします。

表2

家庭の節電に公共施設の利用を

図書館、ふれあいセンター、すこやか広場、唐古・鍵考古学ミュージアムなどを利用し、家庭の節電にお役立てください。

7月1日(日)～9月7日(金)の間、唐古・鍵考古学ミュージアムを無料で開放
ぜひ、郷土の文化財を知る機会にしてください。

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
休館日 毎週月曜日(7月16日(月)は開館し、17日(火)は休み)
(注)団体で来館の際は、事前にミュージアム(☎34・7100)へ電話してください。

表1

夏の昼間の電力使用の特徴

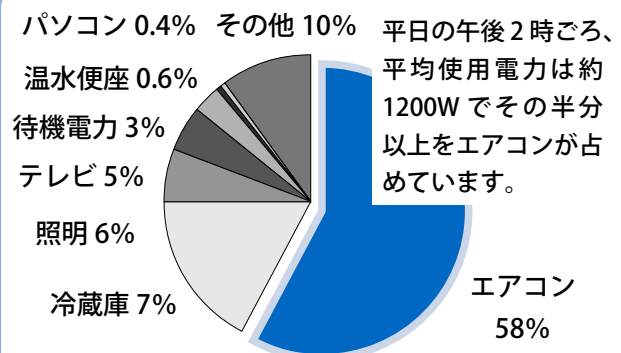
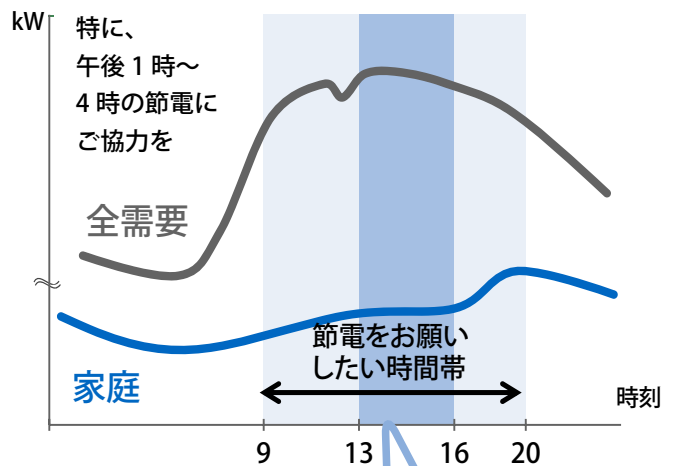


表2

緊急時は一層の節電を

警報が発令される基準

関西電力のでんき予報が右の表示になったとき。非常に厳しい需給状況



需給ひっ迫が想定される場合に、計画停電回避のため、国が「電力需給ひっ迫警報」を発令します。

前日夕方～ テレビ、ラジオ、新聞、ホームページ、電子メール(下記参照)などで継続的にお知らせ。

当日朝～ 緊急速報メールで携帯電話に一齐にお知らせ。(一定の予備率が確保された場合は配信されない)
3～4時間前 ※状況に応じて運用の変更があります。

需給ひっ迫お知らせサービスへの登録を

万一、電力需給のひっ迫が予想される場合に、携帯電話・スマートフォンにお知らせされます。

携帯電話 右のQRコードまたは

<http://mail.setsuden.go.jp> にアクセス

スマートフォン App Store または

Google Play にアクセスし、「節電アクション」で検索





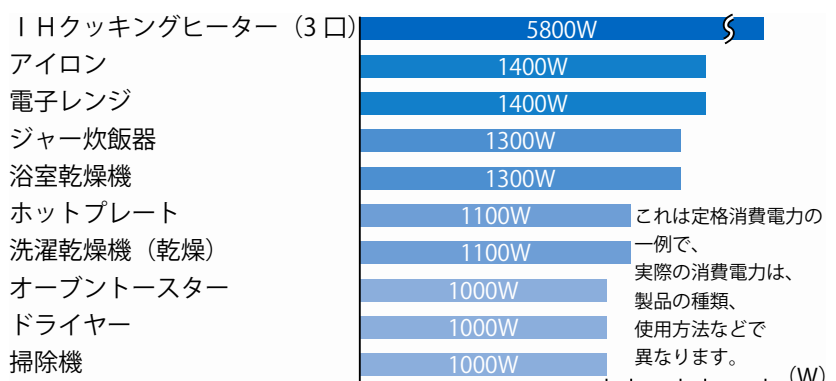
今月の話題

皆さんの生活に関する制度やイベントなどを紹介するコーナーです。

節電メニュー	節電目標 (削減率)	チェック	
 エアコン	室温 28℃を目安に設定する。(設定温度を 2℃上げた場合)	10%	<input type="checkbox"/>
	「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しを和らげる。 (エアコンの節電になります)	10%	<input type="checkbox"/>
	無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機を使用する。 (除湿運転やエアコンの頻繁なオンオフは電力の増加になる 場合があるため注意が必要です)	50%	<input type="checkbox"/>
 冷蔵庫	冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間を できるだけ減らし、食品を詰め込みすぎないようにする。 (食品の痛みにご注意ください)	2%	<input type="checkbox"/>
 照明	日中は不要な照明を消す。	5%	<input type="checkbox"/>
 テレビ	省エネモードに設定するとともに、画面の輝度を下げ、必要 なとき以外は消す。 (標準→省エネモードに設定し、使用時間を 3 分の 2 に減ら した場合)	2%	<input type="checkbox"/>
 温水洗浄便座 (暖房便座)	温水のオフ機能、タイマー節電機能を利用する。 上記の機能がない場合、使わないときはコンセントからプラ グを抜く。	いずれかの 対策で 1%未満	<input type="checkbox"/>
 ジャー炊飯器	早朝にタイマー機能で 1 日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷 凍庫に保存する。	2%	<input type="checkbox"/>
 待機電力	リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る。 長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く。	2%	<input type="checkbox"/>
資源エネルギー庁推計 在宅家庭の日中の最大使用時 (約 1200W) に対する削減率の目安	合計	%	15%以上 を目標に

消費電力が大きい電気製品は 使用する時間をずらそう

家庭には、他にも定格消費電力が大
きい電気製品があります。午後 1 時
～ 4 時の使用は避ける、または使用
する時間帯が重ならないよう工夫しま
しょう。



出典：資源エネルギー庁調べ